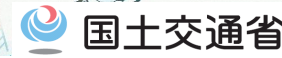


バスのスーパーへの乗り入れによる外出促進や待合所でのイベント開催等を通じたコミュニティの創出



「交通」×「買い物」(広島県熊野町)



事業実施主体

【共創プラットフォーム】熊野町地域交通共創事業実行委員会

【運送事業主体】朝日交通（バス事業）

【共創パートナー】フジ・リテイリング（スーパーマーケット事業） 等

地域課題

- ・町東部の少子高齢化の進行
 - ・阿戸線（熊野営業所－隣町の阿戸町）利用者の減少
- ※令和4年10月に広電バスが撤退、朝日交通が運行引継ぎ
日中便は8人乗りワゴン車で阿戸－萩原地区間のみを運行

実証事業の内容

- ・阿戸線（日中便）の運行経路を見直し、スーパーマーケットである**フジ熊野店への乗入**に加え、コミュニティスペース機能を有する**待合所整備**や**カート貸出**を併せて実施することで、買い物を中心とした外出を促進。
- ・待合所では、町役場と連携したマイナンバーカード申請や健康増進イベント等を開催し、バス待ちのみならず**住民同士のコミュニティの場**として機能。

<事業スキーム>

